

# 人文学・社会科学の将来 『学術審議会報告』とその後

樺山紘一

# リスク社会の克服と知的社会の成熟に向けた 人文学及び社会科学の振興について

文部科学省科学技術・学術審議会

人文学及び社会科学の振興に関する委員会報告

本文は、文部科学省ホームページに

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/  
gijyutu4/toushin/1325360.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1325360.htm)

# 東日本大震災を踏まえた今後の科学技術・ 学術政策の検討における

3つの視点

4つの課題

5つの方策

# 視点1

## 諸学の密接な連携の総合性

- ・個別分野の精緻化と専門化による細分化
- ・生命科学や工学技術などとの適切な連携へ
- ・連携を視野にいれた戦略的挑戦による  
細分化の克服

## 視点2

### 学術への要請と社会的貢献

- 今般の災害にあつて、研究の社会的機能の認識
- 社会的要請への積極的な応答
- 社会に対する明瞭かつ迅速なアウトリーチ

## 視点3

### グローバル化と国際学術空間

- ・人文・社会科学では、母国(語)特性に固執し  
国際化について消極的だった
- ・世界標準のもとでの競争や協働が、一般化  
しつつある
- ・日本固有の課題や方法を国際的な交流の場  
に引きだすこと

## 4つの課題

- (1) 共同研究のシステム化
- (2) 研究拠点の形成・機能強化と大学等の役割
- (3) 次世代育成と新しい知性への展望
- (4) 成果発信の拡大と研究成果の成熟

# 人文・社会科学の方法に向けて

## 人文・社会知の特質

- a. 専門知と市民知
- b. 個別知と統括知
- c. 公共知と臨地知



# 地球文明史の視角

「全地球史」(熊澤峰夫)に呼応して  
歴史家が考える

- a. 人類:種としての共通起源
- b. 環境:外在する環境の内在化プロセス
- c. 多様:交流と比較の輻輳